

回顧録「砂漠の嵐作戦」: 制空権を確立した横田の役割 *Remembering Desert Storm: Yokota AB's role in establishing air superiority*

February 23, 2021

By Senior Airman Hannah Bean
374th Airlift Wing Public Affairs

三十年前、6万8千人以上の米空兵が、砂漠の嵐作戦に急派した。そのなかの2部隊は横田基地(当時の第374戦術空輸航空団)から派兵されたものだった。

砂漠の嵐作戦の主な任務は、サダム・フセインとイラク軍をクウェートから追放し、イラクの主権を再確立することであった。

第345戦術航空中隊と第21戦術空輸中隊で構成され、「デザート・イーグルス」という名で知られる第1676戦術空輸中隊臨時部隊の主要任務の一つは、砂漠の嵐作戦を支援するために、アラビア半島全域への重要な物資や部隊の空輸を行うことだった。また、前線戦闘地域から迅速に傷病兵を航空医療搬送する役割も担った。

デザート・イーグルスは、第374戦術空輸航空団の他の空兵と共に、空軍の資産を提供し、防衛する他の軍事空輸軍団(MAC)部隊と連携を図った。

「砂漠の嵐作戦における第374戦術空輸航空団の役割は、多くの人が認識している以上に大きい。なぜなら、軍事空輸軍団(MAC)の兵士たちの専門的かつ献身的な努力は、『空軍力によるグローバル危機管理』のコンセプト通り、迅速な機動展開に充分に対応できること証明した」と、軍事空輸軍団司令官ハンスフォード・T・ジョンソン空軍大将(1989年9月~1992年8月)は述べている。

1991年2月28日、6週間に渡る空爆と100時間に及ぶ地上作戦を経て、ジョージ・H・W・ブッシュ大統領は作戦中止を宣言し、クウェートの開放を宣言した。

宣言直後、1990年8月2日のイラク侵攻以来初の第1676戦術空輸中隊の隊員が操縦・乗務したMAC機がクウェート国際空港に着陸した。

同機は、クウェートの再建を開始するための大規模な空輸のために、滑走路の運用を管理する戦闘管制チームを空輸した。

第1675戦術空輸群臨時部隊戦術将校のJ・T・キャンシル少佐は、「これは1990年8月初旬から取り組んできた目標だ。200日以上ものあいだ、我々はC-130に搭載可能な大量の車両、MRE、水、部隊、戦車、郵便物、その他あらゆるものをこの管轄地域内の事実上すべての飛行場まで運んできた。愛する人と離れていた時も含め、我々の全ての努力と犠牲が、ついにこの瞬間、クウェートの開放を叶えたのだ」と語った。

紛争は終結したものの、横田基地の隊員はその後数カ月、サウジアラビアに滞在し、戦後のクウェート復興を支援した。

砂漠の嵐作戦は、近代的な防空システムに対してステルスと宇宙システムの支援機能を大々的に使用した史上初の紛争であった。このことは、空軍がこの戦争で制空権を明確に証明したことを意味した。

東南アジアでの紛争以来、最大の航空作戦として知られる砂漠の嵐作戦は、革命的な技術の最先端にいたることが成功のカギであることを空軍に教えてくれた。



The majority of Yokotans deployed to the Middle East departed in late December.



U.S. Air Force photo

Desert Defenders

MSgt. Gerald E. Garfield, left, Sgt. John A. Gogh III, TSgt. Kenneth G. Webb and Amn. Richard A. Miller staff a firing position to protect an airfield from any possible airstrikes in Saudi Arabia. A small contingent of the 475th Security Police Squadron of the 475th Air Base Wing and the 345th Tactical Airlift Squadron of the 374th Tactical Airlift Wing have been deployed to Desert Storm since December 1990.

Views of Desert Life II



The catch phrase for deployed Yokota security police members seems to be "Yokota is in the house" as appears on this sign to mark away the time.